



市役所1階ロビー



職員力・組織力向上の 取り組み



内野 嘉広 議員



全職員対象の人事評価を試行

質問一 職員の育成について。

二 職員のモチベーション、能力向上に向けた取り組みについて。

三 職場風土の整備について。

四 職員の地域活動への考え方は

答弁一（市長） 鶴ヶ島市人材育成基本方針を基に、職場内外研修を実施している。

二 人事評価制度導入に向け、平成22年度から試行を開始し、本年度は全職員を対象として試行する。この制度は職員が個々に目標を設定し、その達成に向け職務を遂行することで、仕事の目的や果たすべき役割等を明確にし、モチベーションや職務遂行能力の向上につながるかと考えている。

三 担当業務以外の業務や市全体の動きについては情報を共有できない部分があるため、職場風

土改善のため、若手職員を中心とした検討の場を設け、行動理念等の制定をしていきたい。

四 職員が地域の中で活動し、地域の人々等と関わることは、職員としての視野を広げ、成長につながるかと考えているが、職員個々の業務量が増えている現状や地元の活動等を勘案すると、強く参加を促すことは難しい状況である。

◎**その他の質問** 農業振興に向けた取り組みについて



子育て支援の総合計画を策定



将来を見据えた保育 計画を

大野 洋子 議員



質問一 保育計画の重点施策は。

二 幼保一元化の方向性は。

三 保育所の施設保全、建て替えの方向性は。

答弁一（市長） 鶴ヶ島市次世代育成支援行動計画である通称「すきっぷ」を策定し、待機児童の解消を図るための重点施策として、

認可保育所の受け入れ児童数の拡大、共働き世帯の増加や就労形態の多様化などによる保育ニーズへの対応策を示している。

二 平成18年に創設された幼児期の教育と保育を総合的に提供するための認定こども園制度がある。この制度は、就業形態が多用化



する中、保護者の就労の有無にかかわらず入所でき、子育ての選択肢が拡大することや発達年齢に応じて一貫した方針に基づく教育・保育が可能となること等の効果が期待できる。

三 市内3か所の公立保育所は、その都度必要な修繕を行い、対応している。施設の建て替えは、24年度に実施した耐震診断の結果を受け、本年3月に保育所建て替え方針を策定した。この方針に基づき今回の補正予算に富士見保育所建て替えの設計予算を計上した。

◎**その他の質問** 支え合い協議会の目指すもの